

第6次南陽市総合計画基本構想骨子（案）

第1章 総論

第1節 はじめに

- ・ 計画策定の趣旨
- ・ 計画の構成
- ・ 計画期間

基本構想	令和3年度～令和12年度（10年間）
基本計画	前期 令和3年度～令和7年度（5年間）
	後期 令和8年度～令和12年度（5年間）

第2節 南陽市の現状と課題

本市を取り巻く情勢

- ・ 少子高齢化・人口減少の加速
- ・ 人手不足の進行
- ・ 大規模自然災害の頻発
- ・ グローバル化の進展
- ・ エネルギー・環境制約の高まり
- ・ 地方創生施策の拡充
- ・ Society5.0^{※1}の推進
- ・ 働き方改革の推進
- ・ 外国人材の受入れ拡大
- ・ 持続可能な開発目標（SDGs）^{※2}の推進

地域課題

- ・ 後継者不足
- ・ 働き手不足
- ・ 移動手段の確保
- ・ 空き家の増加
- ・ 教育環境の見直し
- ・ 発信力・PRの不足
- ・ 耕作放棄地の増加
- ・ 山林の荒廃、獣害の増加
- ・ 行政ニーズの多様化
- ・ 地域コミュニティの希薄化

※1 狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く新たな社会
 ※2 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

第2章 基本構想

第1節 基本理念

基本理念とは、私たちが南陽市のまちづくりを進めていく上で最も大切にしていきたい考えです。この基本理念と基本理念に基づくコンセプトをもとに、まちづくりに取り組み、将来像の実現を目指していきます。

あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮していくことができる社会を実現するため、ひと、もの、活動等のあらゆる地域資源をつないで、新たな価値を創造します。

基本理念に基づくコンセプト

- ・ 地域を牽引する人材を育てる。
- ・ あらゆる地域資源を活用する。
- ・ 地域協働を推進する。
- ・ 新たな切り口、新たな捉え方、新たな活用法を取り入れる。

第2節 将来都市像

将来都市像は、住民・地域・企業・行政が一緒にまちづくりを進めていく上で、共有できる未来の本市の姿であると言えます。この将来都市像に基づき、長期的な視点により市民協働によるまちづくりを進めていきます。

つながり つどう 縁結ぶまち 南陽

南陽市は、かつてより東北各県を結ぶ道路、鉄道が交わり、様々な人が行き交うことで多様な交流が生まれてきた土地柄です。

人と人、まちとまち、過去と未来、心と心
 それぞれの想いを持つ人々が出会い、地域や時間を越えてお互いに関係性を持つ様子を「つながり」と表現しました。
 そうした「つながり」を持った人達が集まり、それぞれの想いや多様な価値観が交わることにより、新たな発想や新たなこれまでに無い可能性を生み出します
 そうした人達が信頼関係を築きながら一緒に活動していく姿を「つどう」と表現しました。
 「縁結ぶまち」は、南陽市が人やまちがつながる場所となり、多様な「つながり」、「つどう」の連続が、新しいものやことを起こしていく姿を現しています。

これからの南陽市は、ここに住む人、出会う人が生き方、暮し方を楽しみ、多様な「縁」により新たな付加価値が生み出されていくまちを目指します。

第6次南陽市総合計画基本構想骨子（案）

第3節 目標人口

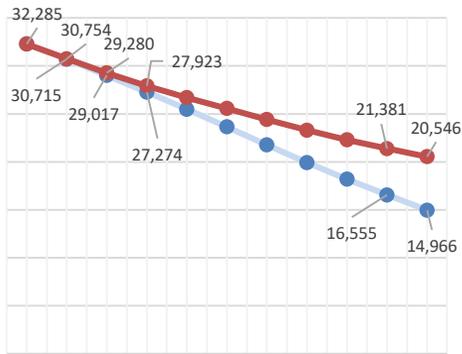
総合計画の目標年次である令和12(2030)年度末における将来人口は「南陽市人口ビジョン」を踏まえて、28,000人を目指すものとします。

本計画における目標人口

28,000人

(令和12(2030)年度末時点)

南陽市の人口の長期的見通し



2015 2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050 2055 2060 2065
H27 R2 R7 R12 R17 R22 R27 R32 R37 R42 R47

● R元年社人研推計準拠 ● R2市独自推計値

※独自推計値は、最新の数値や状況の変化を踏まえて見直しを検討します。

第4節 計画の構成(Vision)

キーワード 多様性、安心
バリアフリー
笑顔、健康
高齢者が元気
アクティブシニア

- ①子育て支援を充実させる
- ②健康づくりを促進する
- ③保健・医療を充実させる
- ④障がい(児)者支援を充実させる
- ⑤高齢者支援を充実させる



第5節 計画の大綱

キーワード オンリーワン
自分のまちを好きになる
まちに誇り
スカイスポーツ
文化
生涯学習、あそび

- ①質の高い学びをつくる
- ②ふるさとの文化を伝える
- ③スポーツ交流を推進する
- ④文化芸術を育てる
- ⑤生涯学習を充実させる



- ①グローバル化に対応する
- ②情報発信を充実する
- ③観光資源をつなげる



キーワード 魅力の発信
どこへでもいける
観光、情報
「南陽市」ブランド

1 健やかで安心な暮らし・子育てを実現する

2 地域に根ざした人材を育てる

- ①産業の付加価値を高める
- ②後継者を育てる
- ③先端技術を活用する
- ④産業間連携を進める

キーワード 魅力の発信
賑わい
人手不足
シンボル
最先端技術

3 力強い産業の基盤をつくる



7 発信力のあるまちづくりを進める

4 強くてしなやかなまち・住みよいまちをつくる

- ①災害に強いまちをつくる
- ②公共交通をつなげる
- ③交通インフラを整備する
- ④快適な居住環境をつくる
- ⑤生活インフラを整備する
- ⑥防犯・交通安全を推進する

キーワード 災害に強い
安心
移動手段
住みやすさ

6 人がつながりまちを育てる

- ①市民がつながる場をつくる
- ②まちづくりへの市民参画を進める
- ③男女共同参画を推進する
- ④行政サービスを充実する
- ⑤健全な財政運営を行う
- ⑥広域行政を進める



キーワード つながり、交流、コミュニティ
新しい人が入りやすい環境、移住したくなる開放性、町が人を育て人が町に恩返しする、人が主役のまち

- ①自然環境を守る
- ②資源リサイクルを進める
- ③省エネルギーを進める



キーワード 持続可能、山を生かす、環境

